



深圳市駐日經濟貿易代表事務所  
Shenzhen Economic And Trade Representative Office In Japan



<http://www.shenzhenoffice.jp/>





## ご挨拶

過去 40 年余りで、深圳は田舎の農村から、近代化、法治主義、国際化された沿海部の大都市に成長し、優良な投資環境で世界トップ 500 社のうち約 300 社を誘致してきました。2020 年末までに、世界 170 か国の外資系企業が深圳で投資をし、外商直接投資プロジェクトは累計 10 万件近く承認され、契約金額は合計 3000 億ドルに達しており、実際に使用した金額は累計 1200 億ドルを超えています。深圳はすでに「魅力的で」「パワーがあり」「活力」「革新力」を持ち備えた国際的な革新型都市となっており、世界におけるモデル都市という目標に向かって着実に進んでおります。

深圳の発展には日本の各産業の支援が必要不可欠です。長年にわたり、深圳と日本の貿易取引は緊密に行われてきました。2020 年末までに、深圳における日系投資企業は 1000 社近くあり、投資額は 37 億ドルを超えております。村田製作所、オムロン、トヨタ、ファナック、住友重工、富士電機などの大手日本企業が深圳で発展を遂げています。

現在、深圳は広東・香港・マカオグレーターベイエリア（大湾区）及び中国の特色ある社会主義先行モデルエリアでの中心的役割を担い、深圳経済特区と先行モデルエリアの中で発展を遂げ、高度成長期を迎えました。深圳は将来、日系企業に重大な発展のチャンスを提供できるでしょう。日本は先進製造業、バイオ医薬、ニューマテリアル、新エネルギーなどの分野で独特な優位性があり、その一方で、深圳は産業発展の支援体系が完備しており、人材、資本、イノベーション及び市場方面で日本企業と積極的な提携ができ、相互補完、情報共有、共存共栄を実現できるでしょう。

われわれは様々な経済・貿易の交流活動を通じて、日中双方の理解と信頼を促進し、深圳と日本企業間のビジネスをより広く、より深く発展させてまいります。

深圳市駐日経済貿易代表事務所首席代表

田常浩



## CONTENTS 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| <b>壹</b> 深圳の基本情報                | 03 |
| <b>貳</b> 投資のご提案                 |    |
| 1> なぜ深圳か                        | 06 |
| 2> 重点産業                         | 19 |
| 3> 企業経営コスト参考データ                 | 23 |
| <b>参</b> 強力な経済・貿易               |    |
| 1> 対外貿易                         | 26 |
| 2> 外国資本                         | 27 |
| 3> 消費                           | 28 |
| 4> 電子商取引                        | 29 |
| 5> 保税経済                         | 30 |
| 6> 対外提携                         | 30 |
| 7> 多国籍企業                        | 30 |
| 8> 深圳国際コンベンション&エキシビジョンセンター      | 31 |
| 9> 深圳証券取引所                      | 33 |
| <b>肆</b> 注目エリア                  |    |
| 1> 光明科学城                        | 36 |
| 2> 前海蛇口自由貿易エリア                  | 37 |
| 3> 深港科技イノベーション合作区               | 39 |
| 4> 西麗湖国際科学教育城                   | 41 |
| 5> 深汕特別合作区                      | 42 |
| <b>伍</b> 住みやすい街                 |    |
| 1> 低炭素都市                        | 44 |
| 2> 森林都市                         | 45 |
| 3> 医療設備                         | 47 |
| 4> 高等教育                         | 48 |
| 5> 人材政策                         | 49 |
| <b>陸</b> 私と深圳                   | 51 |
| <b>漆</b> 深圳市駐日経済貿易代表事務所<br>のご紹介 | 55 |

## 広東・香港・マカオグレーターベイエリア

中国で最も開放され、最強の経済活力、最も活発なイノベーションを擁する、人口が最も集中している地域の一つです



総面積

**5.6** 万平方キロメートル

常住人口  
約 **7,265** 万人

GDP 総額  
約 **11.6** 兆元 (約 197 兆 6800 億円)

国際空港  
**4** カ所

旅客利用数  
のべ約 **2** 億人

世界の港湾別コンテナ取扱量ランキング TOP10  
**3** 港

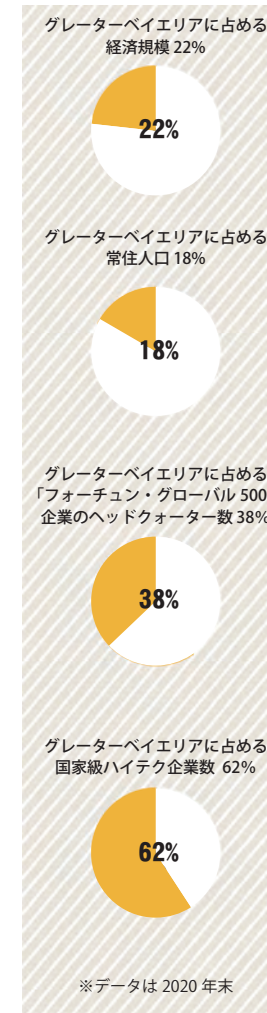
貨物取扱量  
約 **13.8** 億トン

「フォーチュン・グローバル 500」企業の  
ヘッドクォーター数  
**21** 社

国家級ハイテク企業数  
**3** 万社以上

※データは 2020 年末

## グレーターベイエリアにおける深圳



- 1 > 深圳は、経済特区として、全国の経済の中心として、国家のイノベーション型都市としてリードする役割を發揮しており、現代化都市、国際化都市の建設を加速し、世界的影響力を持つイノベティブでクリエイティブな都市となるよう努めています。
- 2 > 「広州 - 深圳 - 香港 - マカオ」イノベーション回廊建設を推進
- 3 > 深圳証券取引所を中心とした行動規範に沿った資本市場の発展を支援し、金融の開放と革新を加速させます
- 4 > 深圳の保険イノベーション新成長モデル地区の建設、深圳と香港間の金融市場の相互提携と深圳とマカオ間の特色ある金融提携の推進、フィンテック試行地区の展開、フィンテックメディア建設の強化をサポートします
- 5 > 中国初の経済特区
- 6 > 貨物取扱量が世界トップクラスの重要港湾
- 7 > 国際的影響力を持つ航空路の中枢
- 8 > 地域発展のコアエンジン
- 9 > 世界レベルの先進的製造業が集積する中心都市
- 10 > グローバル経済の中核都市
- 11 > 国家イノベーション型都市
- 12 > 珠江デルタ地域と ASEAN 諸国を結ぶ国際陸路のハブ
- 13 > 国際的な総合交通ハブ
- 14 > 世界の主要海洋都市











Chapter 1

SHENZHEN BASICS

深圳の基本情報



|   |             |  |
|---|-------------|--|
|    | <b>地理</b>   | 中国南部の臨海都市。広東省南部に位置し、東は大亜湾と大鵬湾に、西は珠江河口と伶仃洋に、南は深圳河で香港と繋がり、北は東莞、惠州に接しており、広い海域は南シナ海と太平洋へと繋がっています |
|  | <b>気候</b>   | 亜熱帯海洋性モンスーン気候で、温暖湿潤、降水量は多く、年間平均気温は 23℃   |
|  | <b>人口</b>   | 流動人口は約 2000 万人、常住人口は 1343 万 8800 人   |
|  | <b>面積</b>   | 1997.3 平方キロメートル  |
|  | <b>言語</b>   | 標準中国語がメインで、広東語、英語も広く使用されています   |
|  | <b>行政区分</b> | 福田区、羅湖区、塩田区、南山区、宝安区、竜崗区、竜華区、坪山区、光明区、大鵬新区、深汕特別合作区   |

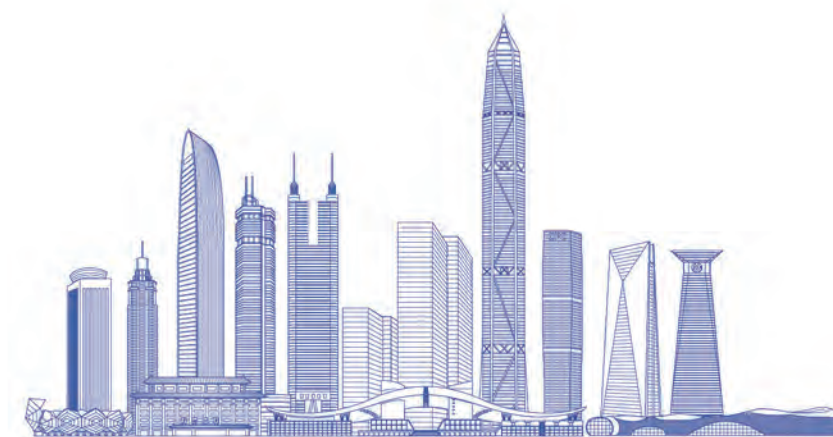
※統計データは 2019 年 12 月 31 日時点



Chapter 2

INVESTMENT PROMOTION

投資のご提案



>> **Why Shenzhen**  
なぜ深圳か





## >> アジア太平洋地域の中核

深圳は香港に隣接しており、地理的な優位性に恵まれ、「一帯一路」を提唱されるアジア太平洋地域の重要な交通の中核でもあります。深圳は世界級の深水港湾区域、大型国際空港とアジア最大の陸路国境ゲートの一つを有しており、幹線高速道路、国営鉄道路線、旅客路線が交差しています。

深圳が位置されている珠江デルタ地域は、世界でも類のないハードウェアの組み立て能力を有しており、深圳を起点（OR:中心）として車で1時間以内に各種産業用部品を調達でき、科学研究の成果がスピーディーにイノベーション製品に実用化できます。深圳は世界で最も発達した市場とゼロ距離であり、香港とは24時間通関、深圳から香港市内へは23分、香港国際空港までは車で1時間弱で到着できます。製品を製造・出荷後、1時間以内に深圳・香港から世界各地へと発送できます。

英紙『フィナンシャル・タイムズ』グループの『fDi Intelligence』（海外直接投資情報誌）による「アジア太平洋未来都市 TOP10」に選出

『中国都市鉄道 TOD（公共交通指向型都市開発）評価指標報告』で、深圳は市地下鉄総合ランキングでトップ

2019年、国際航空旅客数伸び率が全国第1位

2019年対外輸出総額 2兆9773億900万元（約50兆7384億円）、全国の都市で第2位

2019年のコンテナ取扱量 2576万9100 TEU（標準サイズ）、世界第4位

2019年、国際航空旅客数伸び率が全国

第1位

2019年対外輸出総額  
2兆9773億900万元  
（約50兆7384億円）、  
全国の都市

第2位

2019年のコンテナ取扱量  
2576万9100 TEU（標準サイズ）  
世界

第4位



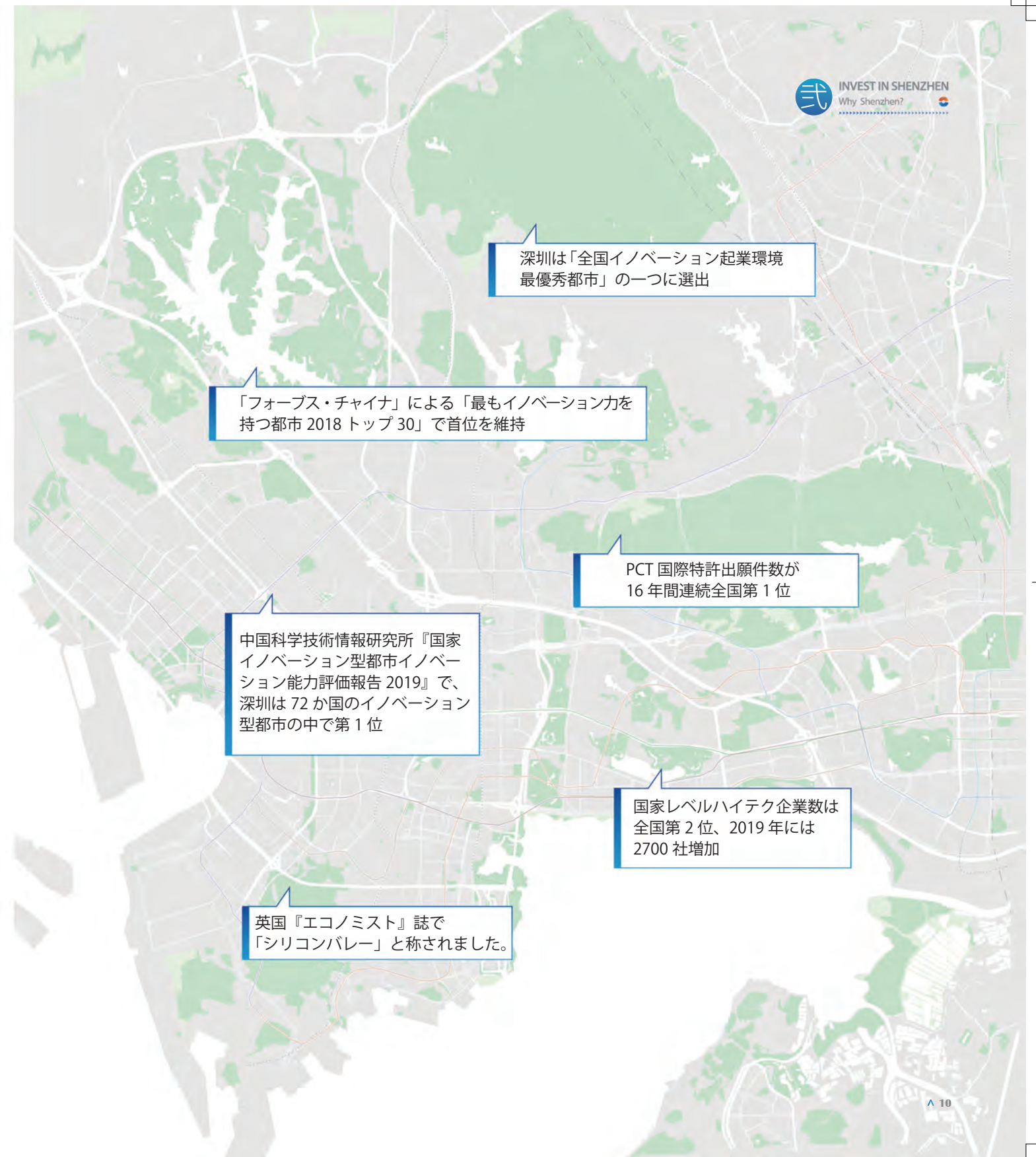
INNOVATION  
IS  
GREAT

INVEST



## >> イノベーションシティ

イノベーションは深圳の DNA。深圳は中国で初めて都市単位で国家自主イノベーションモデル地区となり、国際的な科学技術と産業イノベーションの新しい中心都市づくりを加速しています。電子情報、インターネット、バイオ、再生エネルギーなどの産業分野でトップランナーとなっています。深圳からは、華為技術（ファーウェイ）、中興通迅（ZTE）、騰迅（テンセント）、比亞迪（BYD）、大疆創新科技（DJI）などのハイテク企業が生まれており、名実ともにイノベーションシティとなっています。



深圳は「全国イノベーション起業環境最優秀都市」の一つに選出

「フォーブス・チャイナ」による「最もイノベーション力を持つ都市 2018 トップ 30」で首位を維持

PCT 国際特許出願件数が 16 年間連続全国第 1 位

中国科学技術情報研究所『国家イノベーション型都市イノベーション能力評価報告 2019』で、深圳は 72 か国のイノベーション型都市の中で第 1 位

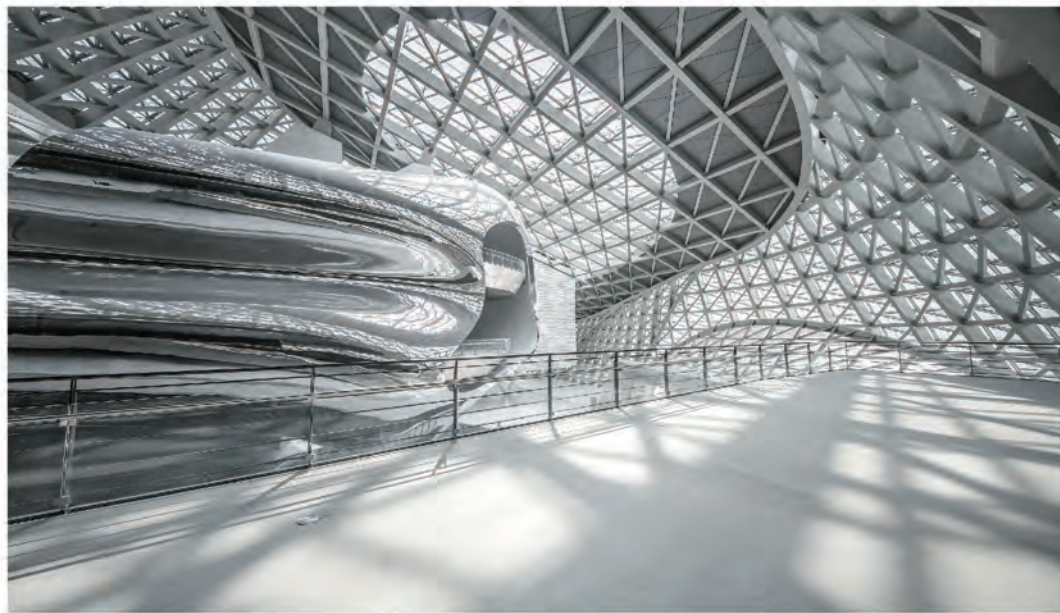
国家レベルハイテク企業数は全国第 2 位、2019 年には 2700 社増加

英国『エコノミスト』誌で「シリコンバレー」と称されました。



VITALITY  
IS  
GREAT

INVEST



>>  
**開放と包摂**

深圳は中国の対外開放の窓口、新興の移住者の都市であり、大量のハイスペック人材が集まる、活力に溢れる都市です。「深圳に来たらもう深圳人」と言われるように、深圳の独特な人口構成は人材と市場の活力をほとばしらせており、開放とインクルージョンとイノベーションの多元的文化という特徴を形成しています。ここでは各国の様々な文化、思想が混じり合い、ぶつかり合うことによる各種のイノベーション、クリエイション、独創的な思考、創造が次々に生まれ、深圳を「世界のクリエイターの街」へと育てあげました。



ユネスコが深圳に  
「世界読書モデル都市」の  
称号授与

登録ボランティア数が  
175万人を突破

「全国調和のとれた  
コミュニティ建設モデル都市」  
称号を獲得

「全国文明都市」  
連続5回受賞

深圳の常住人口の95%が  
他の地方から流入してきた  
移住人口

深圳の労働年齢人口の  
比率は90%超



市民の平均年齢は  
わずか33歳前後



ECONOMY IS GREAT

INVEST



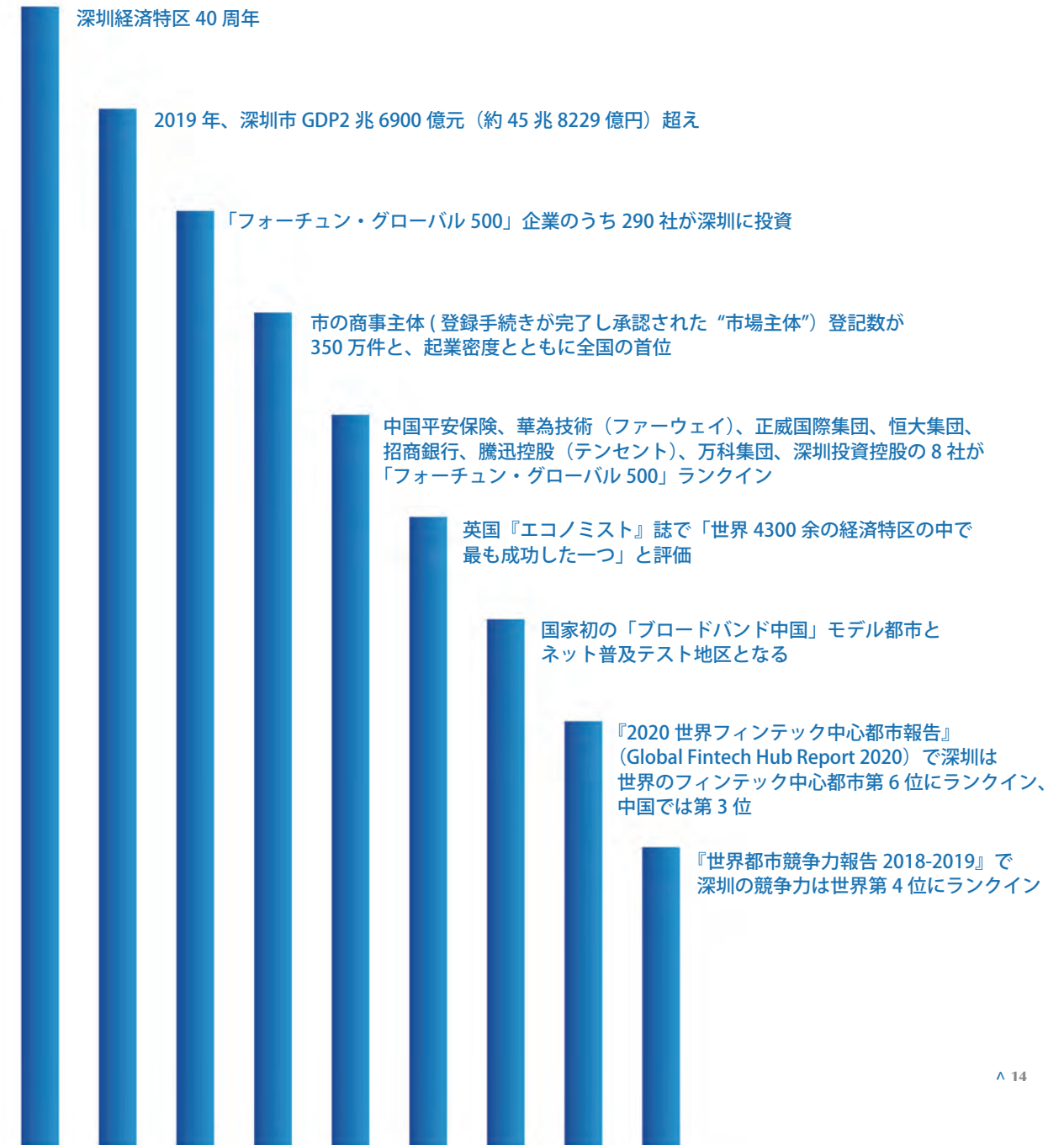
>>

## 市場の活力

深圳は中国国内で最も「市場化」された都市です。中国初の経済特区であり、市場経済が発展し整備されています。市場環境は公平で、企業が十分に尊重されています。2019年に深圳市 GDP は 2 兆 6900 億元（約 45 兆 8229 億円）を突破、世界で最も成長のスピードが速い都市の一つとなり、かつての小さな漁村から中国で最も経済が発展した都市の一つへと変貌しました。

深圳には、中国平安保険、華為技術（ファーウェイ）、正威国際集団、恒大集団、招商銀行、騰訊控股（テンセント）、万科集団、深圳投資控股という 8 社の「フォーチュン・グローバル 500」企業があります。深圳は「グローバル企業の故郷」であるだけでなく、「スタートアップ企業のゆりかご」でもあります。

## 深圳経済特区 40 周年





INVEST  
SERVICE IS GREAT



>>

## 高効率の行政サービス

深圳市政府は全国でも効率の高い役所の一つで、法治型・サービス提供型・クリーンな行政づくりを進めています。深圳は特区の立法権という強みを利用し、公平・透明な、規制の緩やかなビジネス環境を構築しています。深圳は中国初の経済特区として、中国の改革開放の窓口であり、改革開放の先行都市としての使命を背負っています

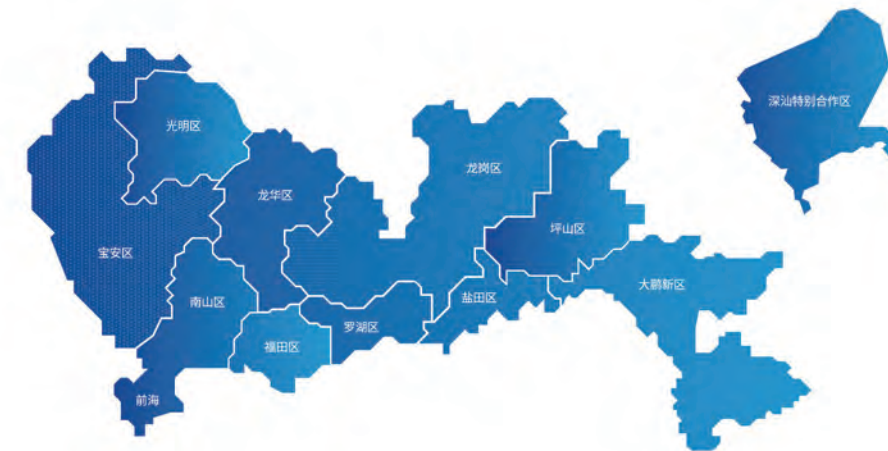
深圳は市場化、法治化、国際化、円滑化を目標とし、多くの改革、簡素化と権限移譲、事務処理フローの最適化を推進し、全国で率先して商業登記一本化制度改革を進め、会社設立登記の手続きを簡素化して、起業を奨励し、会社登記を20日間から1日(作業日)に短縮しました。



中国社会科学院発行『都市競争力白書 2019』で深圳は国内都市総合経済競争力第1位



2019年『中国都市発展報告白書』で深圳は都市の健全な発展レベルで第1位



『中国法治政府評価報告 2018』で都市法治政府レベル評価第1位



中国都市競争力研究会が発表した2018年中国高効率政府ベストテンランキングで第1位



## >> 海辺の環境

深圳は美しい都市で、北回帰線の南、熱帯と亜熱帯の境界線にあります。気候は温暖湿潤で住みやすく、260 キロメートルの海岸線があり、海辺の風景も素晴らしい、清々しく美しい自然環境に恵まれています。深圳は生態環境だけではなく、「エコ低炭素」の成長理念を大切に、資源の使用を減らし、さらに高品質な経済効果を求めようと提唱しています。エコ低炭素は深圳の都市としての成長の新しい特質なのです。

国連環境計画グローバル

ベスト **500**

最も外国人材が歓迎される  
3大都市の一つ

**1/3**

深圳市内の公園

**1090** カ所

国連環境計画「グローバル500」で中国初の「国際ガーデンシティ」に

「中国で最も美しい八大海岸線」の一つがある

『ニューヨークタイムズ』の「行くべき31の旅行先」に選ばれる

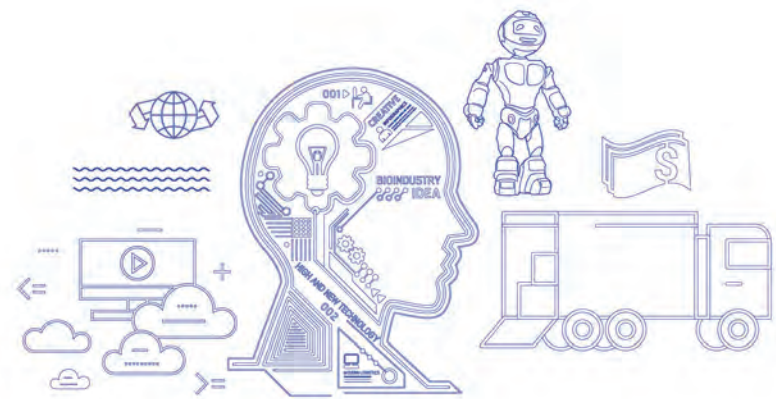
『ロンリープラネット』の「訪れるべき国と都市ベスト10」の都市部門で第2位

『国際人材交流』誌で「最も外国人材が歓迎される3大都市」の一つに選ばれる

深圳には1090カ所の公園があり、「千園の城」と呼ばれる

単位GDP当たり、エネルギー消費量と水資源消費量が中国内の都市で最低水準

深圳の空気質は国内都市で最優秀レベル



>> **Key Industries**  
**主要産業**

基幹産業

▶ **ハイテク産業**

2019年、深圳のハイテク産業の付加価値は9230億8500万元（約15兆6176億円）、前年比11.3%増。深圳は電子情報産業が主導するハイテク産業の集積地となっており、全国のハイテク成果産業化の重要な基地です。



▶ **金融業**

2019年、深圳の金融業の付加価値は3667億6300万元（約6兆2055億円）、前年比9.1%増。深圳はフィンテックのトップランナーで、深圳証券取引所の所在地です。金融業の集積地区は福田、羅湖、前海深港現代サービス業合作区などで、そのうち前海は我が国の金融業の対外開放試験モデル窓口として設置し、フィンテックビジネスのシステムが整っています。



▶ **現代物流業**

2019年、深圳の物流業の付加価値は2739億8200万元（約4兆6355億円）、前年比7.5%増。2019年、深圳港国際コンテナ定期航路211本が開通しており、コンテナ取扱量は2576万9100TEUと世界第4位。



▶ **文化・クリエイティブ産業**

2019年、深圳の文化・クリエイティブ産業の付加価値は1849億500万元（約2兆1284億円）、前年比18.5%増。深圳は全国で初めてユネスコの「デザイン都市」に参加。インダストリアルデザイン、グラフィックデザインなどは全国のトップレベルで、iFデザイン賞の受賞数は全国一です。





## 戦略的新興産業

2019年付加価値合計  
**1兆155億5100万元**  
(約17兆1822億円)  
前年比 ↑ **8.8%**



深圳はイノベーションのリードを中核として、次世代情報技術、ハイエンド設備製造、エコ低炭素、バイオ医薬、デジタル経済、ニューマテリアル、海洋経済などの七つの戦略的新興産業を中心に、イノベーション主導型成長戦略を実施し、産業の科学技術含有量を大幅に増やし、国際競争力を持つ兆元クラス、千億元クラス産業クラスターを急速に形成しており、さらに多くのアドバンテージを持つ分野を大きく発展させ、基幹産業に育て、産業の高度化と経済社会のハイクオリティな発展を持続させます。



集積回路： 共同で連動する産業ビジネス生態系を構築し、当市の新時代情報技術産業の最適化、高度化を支えます。

AI： 深圳の AI ハードウェアの末端製造、ユーザーデータ資源の備蓄、応用モデルイノベーションなどの優位性を生かし、世界をリードする AI 産業基地を建設します。

5G 移動通信： 5G 拡大の窓口であるチャンスを生かし、引き続き世界の通信業界のリーダーとしての深圳の地位を固めます。

新型ディスプレイ： 大画面ディスプレイの製造基地である優位を固め、新型ディスプレイ産業が当市の電子情報産業の新しい成長拠点となるように推進します。

IoT： 産業チェーンの上下流の連動、協調で、持続可能な発展の枠組みをつくります。

スマートカー： スマートカーの応用モデル地区を建設します。

フレキシブル基板： フレキシブルデバイス搭載の応用ニーズに対し、次世代電子情報製造業の攻略ポイントを独占します。



スマート機器： 次世代情報技術と製造業を密接に融合させ続け、スマート製造モデル区を構築、製造業企業を現代製造サービス企業へと構造転換させるようリードします。

AM 技術： 3D プリンタ製造業イノベーション新センター建設を加速し、製品デザイン、材料、主要部品、組み立て及び応用などプロセスをカバーする完全な産業チェーンを形成し、ハイエンド製造と精密製造のサポートに力を入れます。



省エネ環境保護： 電動機械、半導体照明、家電、環境対策などの優位性のある分野で、省エネ環境保護産業基地とイノベーションセンターを構築。

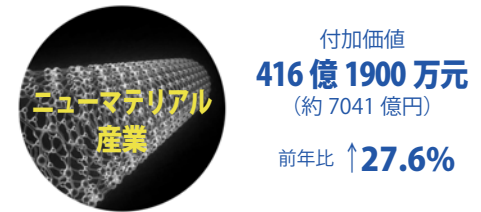
水素燃料電池： 宇宙、航空、自動車、軍事工業などの応用分野で、産業チェーンの整備を加速させ、水素エネルギー経済の育成を持続させる。



精密医療： 「健康中国」戦略を実施、精密医療（プレジジョン・メディシン）の発展と応用の本源的、核心的な問題に対し、科学技術の一次イノベーションを進め、遺伝子検査と個別化治療の技術領域での大きなブレイクスルーを実現し、国際的に一流の精密医療のプラットフォームと臨床実用化システムを構築、生命健康のビッグデータプラットフォームを設置し、生命健康の「大科学計画」を立ち上げ、国際的に先端を行く精密医療モデル区を建設します。



フィンテック： フィンテック研究機関の建設を加速し、デジタル貨幣ウォレット、スマート契約検証と管理、金融ビッグデータ AI 分析などの核心技術をブレイクスルーし、積極的に新技術応用シーンを探索し、世界をリードするフィンテックセンターを建設します。



グラフェン： 応用指向を維持し、高レベルのイノベーションプラットフォームを建設します。

マイクロナノメーターとデバイス： 基礎研究と応用研究のリンクを強化し、大規模産業化を加速し、情報、マテリアル、エネルギー、製造などの関連産業をさらに高いレベルに向け先導しサポートします。



イノベーションの牽引、陸海統括を堅持し、深圳の海洋経済の総合的实力をさらに強化し、海洋科学技術のイノベーション能力を向上させ、国際的な魅力、競争力、影響力を持つ国際海洋センター都市の建設を加速します。



>> **Enterprise Operating Cost Reference**  
企業経営コスト参考データ

**重点地域オフィス賃貸料**

深圳甲級オフィスビル平均賃貸料

**268** 元(約 4534 円) / m<sup>2</sup>



**賃金基準**

深圳最低賃金基準

**2200** 元(約 4万 5343 円) / 月



**工業用電気価格**

普通商工業及びその他の電力利用

ピーク時間帯

**1.0526** 元(約 17.7 円) / KWH



通常時間帯

**0.7001** 元(約 11.8 円) / KWH



オフピーク時間帯

**0.2561** 元(約 4.33 円) / KWH



**工業用地価格**

普通工業用地 M1

建築面積 1 m<sup>2</sup>当たりの単価

**357** 元(約 6040 円) / m<sup>2</sup>



(元特区内 961 元(約 1万 6259 円) / m<sup>2</sup>、  
元特区外 322 元(約 5447 円) / m<sup>2</sup>)

新型産業用地 M0

建築面積 1 m<sup>2</sup>当たりの単価

**1470** 元(約 2万 4871 円) / m<sup>2</sup>



(元特区内 2574 元(約 4万 3550 円) / m<sup>2</sup>、  
元特区外 1405 元(約 2万 3771 円) / m<sup>2</sup>)

**工業用水価格**

工業用水価格

**3.77** 元(約 63.8 円) / m<sup>3</sup>



下水処理費

**1.05** 元(約 17.7 円) / m<sup>3</sup>

商業、サービス業、建築業用水

**3.77** 元(約 63.8 円) / m<sup>3</sup>



下水処理費

**1.2** 元(約 20.3 円) / m<sup>3</sup>

※上記の価格は重点地域の平均価格。統計データは 2020 年末のため参考まで。実際の価格は最新の公表価格が基準となります。





Chapter 3

STRONG ECONOMY  
AND VIBRANT TRADE  
強力な経済・貿易

>> 対外貿易

2019年、当市の輸出入総額は2兆9773億9000万元（約50兆374億円）と、全国の都市で第2位、全省における割合は41.7%。そのうち、輸出は1兆6708億9000万元（約28兆2700億円）で、全国都市の中で27年間連続トップとなっており、全省における割合は38.5%、全省の輸出増加に対する貢献率は66.6%に達しています。輸入額は1兆3064億9000万元（約22兆1046億円）、全国の都市で第3位、全省における割合は46.6%となりました。

▶ 輸出入

輸出入総額は2兆9773億9000万元（約50兆374億円）  
全国の都市で第2位  
全省における割合41.7%



▶ 輸出

輸出総額は1兆6708億9000万元（約28兆2700億円）  
全国都市の中で27年間連続トップ  
全省における割合は38.5%

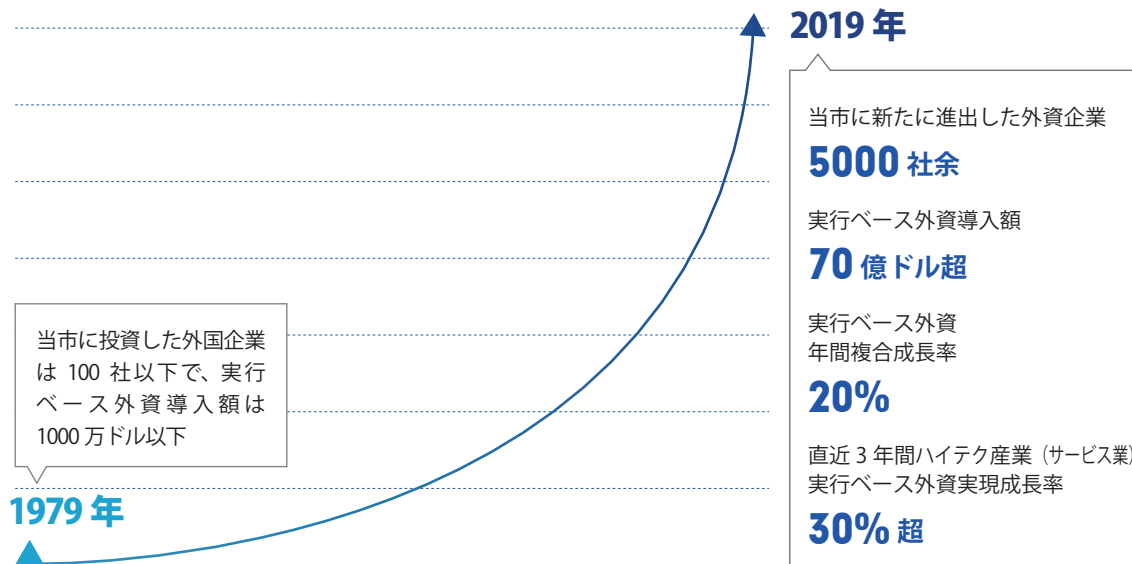


▶ 輸入

輸入総額は1兆3064億9000万元（約22兆1046億円）  
全国の都市で第3位  
全省における割合は46.6%



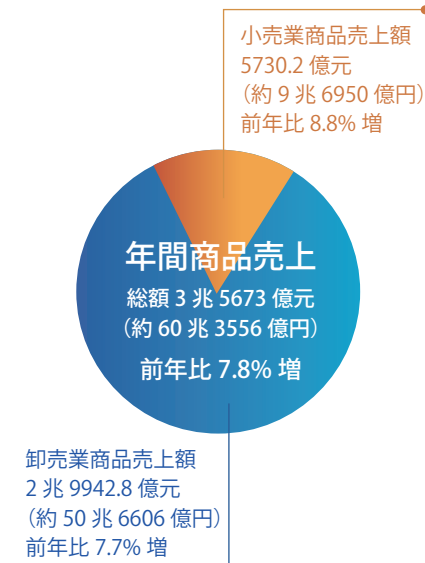
## >> 外国資本



## >> 消費

### 2019 年社会消費財売上

総額 7144 億元（約 12 兆 870 億円）  
前年比 7.3% 増



飲食業売上高 847 億元（約 1 兆 4330 億円）、前年比 13% 増。ホテル宿泊業売上高 155 億 1000 万元（約 2624 億円）、前年比 1.4% 増。基準額以上の企業の商品売上のうち、金属材料類は前年比 22.1% 増、食糧・油食品類は前年比 20.4% 増、タバコ・酒類は前年比 12.0% 増、文化オフィス用品類は前年比 11.0% 増、通信機材類は前年比 5.9% 増。

全市内の小売、飲食、卸売拠点は 35 万カ所、そのうち 1 万平米以上のショッピングセンター（デパート）は 180 カ所、5 万平米以上は 100 カ所、10 万平米以上は 20 カ所、年間売上高 30 億元（約 507 億円）以上のショッピングセンターが 6 カ所あります。

### ▶ 主な注目点：消費の新たなエンジンが加速し続けています

ネット販売が成長のメインエンジンであり、オンラインとオフラインの融合が進み、消費市場のスピーディーな成長を助けています。

2019 年、前市内の基準額以上の企業の実物商品のネット売上高は 541.9 億元（約 9164 億円）、前年比 41.4% 増、社会消費財売上高に占める比率は 9%、前年比 3 ポイント増。

### ▶ 飲食業は猛烈な成長トレンド、サービス消費が重要な成長ポイントに

2019 年の宿泊・飲食業は社会消費のうち 828.1 億元（約 1 兆 401 億円）を占め、前年比 11.2% 増と成長率は 2.8% 上がっており、社会消費財における寄与率は 21% に上っています。

### ▶ 主要なイベント活動

#### 最大規模のショッピングイベントである

「鵬城八月歡樂遊購（August joyful shopping trips in Shenzhen）」は、全市 10 区、10 大業界、10 大観光スポット、100 余のショッピングエリア、500 余の大型フランチャイズ、5000 余の小売店、1 万余のブランドが参加、各種イベントが 1000 以上企画され、企業がイベントに投入した費用は 10 億元（約 169 億円）以上、各種の PR 資料は正確にのべ 2 億人に行き渡り、8 月 1 カ月間の買い物客数と売上高が明らかに増加しました。

#### 深圳市小売業外資誘致大会を開催

2019 年には小売業外資誘致大会を開催、ウォールマート、ウーマート、京東グループなどの国内外の 300 社余の大手小売業者の 500 人を超える代表者が深圳の小売の成長状況や、付与・サポートされる政策システムを紹介し、アクセンチュア、マッケンジー、キャピタランドなどの国際的にもトップクラスのビジネス組織と共同で「深圳市小売業者発展グローバルシンクタンク同盟」を設立し、さらに深圳の国際消費センター都市の建設をアシストしていきます。

#### 第 2 回輸入博覧会に団体参加

2019 年深圳市は上海で開かれた第 2 回輸入博覧会に出展し、会場で買い付けマッチング商談会などの一連の活動を開催、20 以上の国の 400 余のサプライヤーや仕入業者が参加しました。商談会で契約協議された提携金額は 104.4 億ドル、商務部の統計に入った 1 年以内の協議成約額は 21.6 億ドル、第 1 回に比べて 20% 増加し、全省の成約額の 7 割を占め、全国でもトップクラスでした。

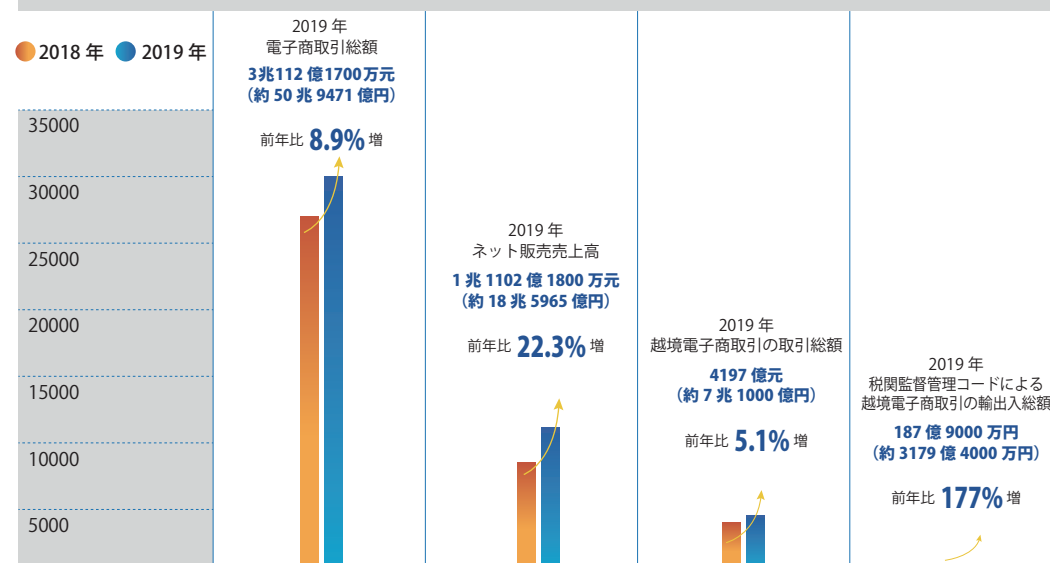


## >> 電子商取引

2019年深圳市電子商取引は全体として急速な成長を維持しました。電子商取引総額は3兆元(約51兆円)の大きさに乗れ、3兆112億1700万元(約50兆9471億円)に達し、前年比8.9%増となり、5年連続で8~9%の間をキープし、電子商取引発展の第一世代の地位を保っています。ネット販売売上高も兆の大きさに乗れ、1兆1102億1800万元(約18兆5965億円)に達し、前年比22.3%増となって5年連続で増加率20%以上の急速成長を維持しています。越境電子商取引の取引総額は4197億元(約7兆1000億円)と前年比5.1%増となり、全市の輸出入総額の14.1%を占めました。2019年には税関監督管理コードによる越境電子商取引の輸出入総額は187億9000万元(約3179億4000万円)に達し、前年比177%増となりました。

B2Bの電子商取引は市場のメインとなっており、電子商取引企業のプラットフォームは拡大を続けています。製造業と電子商取引とは深く連結しており、フォックスコン、ベレに代表される伝統的な製造業がF2C(B2C)モデルを推進しています。かつての貿易ビジネスは急速に新しい販売にシフトしており、伝統的な百貨店は電子商取引方式によって業態融合を進めています。サプライチェーンの管理と電子商取引とはともに成長し、電子商取引が経営するサプライチェーンのサービスプラットフォームが業務モデルの不断のイノベーションを実現しています。

### 電子商取引データ比較



## >> 保税経済

2019年、本市保税区的実現輸出入総額は6378億9000万元(約10兆7922億円)、前年比11.74%増、全市の輸出入総額の21%となりました。

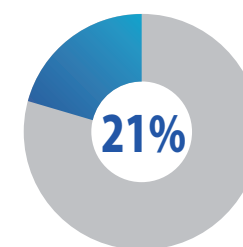
深圳には4つの保税区域があり、西から前海湾保税区域、福田保税区域、塩田総合保税区域、深圳輸出加工区となります。承認された境界内面積は9.42平方キロメートルで、2020年1月での全市特殊区域封鎖面積は約7.26平方キロメートル、区内企業は主に現代化物流、保税製造、国際貿易の企業で、産業用屋は主に工業と倉庫用に建築されています。

### 2 輸出入総額

**6378億9000万元**  
(約10兆7922億円)

前年比 **11.74%** 増

### 全市の輸出入総額



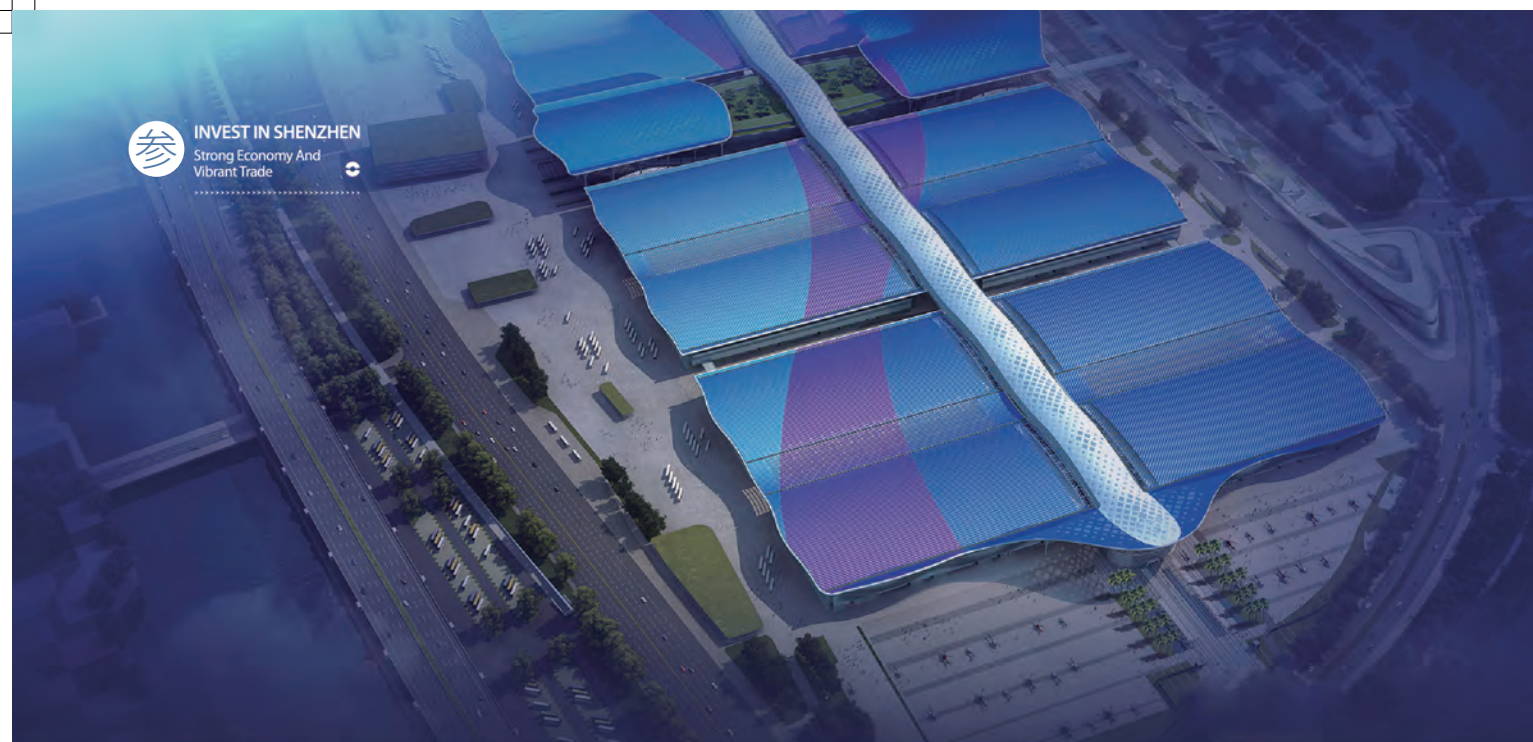
## 対外提携

2019年、深圳市企業による世界59の国と地域に対する直接投資は、非金融系の海外企業469社に対するもので、実際の対外投資額は全国の地方都市では第3位。新規締結契約額と契約履行された売上高ともに全国都市のランキングでトップでした。

## 多国籍企業が集合

近年、「フォーチュン・グローバル500」企業の深圳での投資は大幅に増加、米国のアップル研究開発センター、カルコム深圳イノベーションセンター、フランスのエアバス(中国)イノベーションセンター、アイルランドのアクセントゥアグローバルイノベーション研究開発センター、米国のウォルマートスマート販売センターなどの多国籍企業が日々進出してきています。英国のARM(中国)本部、恒大集団本部、恒力集団本部、恒力集団国際本部、神州デジタル国際本部、OPPOホールディングス研究開発本部、百行征信本部、小米集団国際本部、今日頭条南方本部、滴滴出行華南本部、ウーマーケット南方本部、新希望集団国際本部などの有名企業の国際本部、地域本部、機能性本部も続々と深圳に設立されており、その経済への影響力は拡大し続けている。





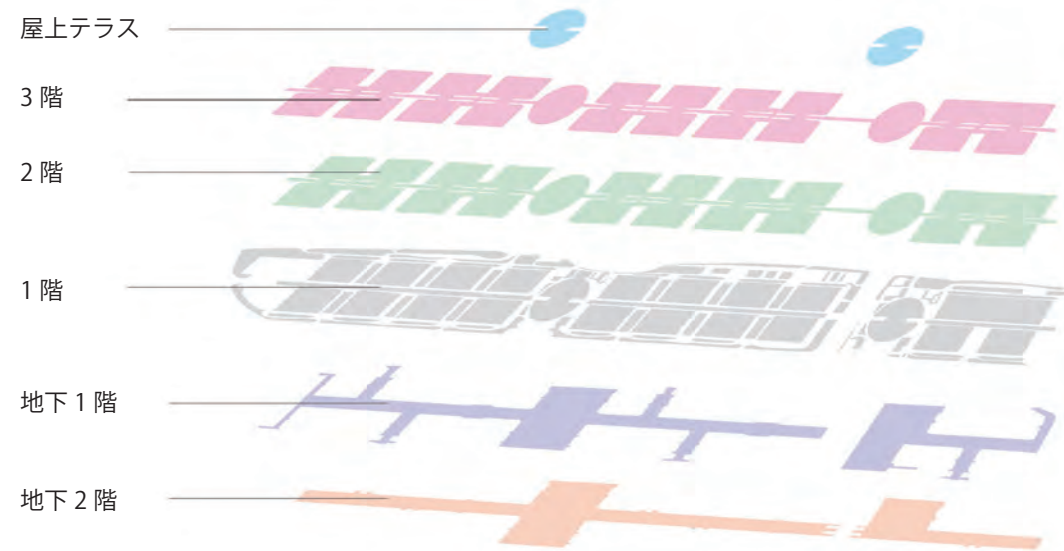
INVEST IN SHENZHEN  
Strong Economy And  
Vibrant Trade

INVEST IN SHENZHEN  
Strong Economy And  
Vibrant Trade



## >> 深圳国際コンベンション & エキシビジョンセンター

### 立体見取り図



深圳国際コンベンション & エキシビジョンセンターは深圳市政府が投資・建設した重要プロジェクトであり、第1期の敷地面積は121.4万平米、延べ床面積160万平米、屋内展示場面積40万平米あります。すべて完成した暁には、屋内展示場面積50万平米、世界最大の展示場となります。展示場は細長い魚骨式レイアウトを採用、1辺が1.75kmの中央通路が2万平米のスタンダードホール16会場、2万平米の多機能ホール2会場、5万平米の超大型ホールという19の展示会場に連結しています。

深圳国際コンベンション & エキシビジョンセンターは深圳会展新城に位置し、深圳宝安国際空港の北、グレートベイエリアの突端、珠江デルタの中心と広東自由貿易区の中心、広深港中核発展の通路、東西は通路の合流地点にあり、また広州・佛山・肇慶と深圳・東莞・惠州と珠海・中山・江門の三大都市圏の交わる場所にあり、位置の優位性は際立っており、良好なリソースが集まる効果と巨大なポテンシャルを有しています。



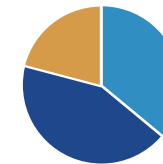


>> 深圳証券取引所

深圳証券取引所は中国国内に2カ所ある証券取引所の一つです。1990年12月1日に営業開始、国務院の批准を経て設立された全国規模の証券取引の場です。主要な業務は証券の集中的取引に設備とサービスを提供することで、証券の上場審査と上場企業と会員に対する監督管理、市場の取引をリアルタイムで監督し、取引の品種と取引メカニズムを革新し続け、投資者、株式発行人などの各種市場関係者に奉仕します。

近年、深圳証券取引所の規模は拡大し続けており、融資機能が徐々に強化され、吸引力と影響力は強まり続け、多くの指標が世界のトップクラスとなっています。

▼ 2019年12月末時点



- メインボード ..... 471社
- 創業ボード(新興企業) ..... 791社
- 中小ボード ..... 943社

深圳証券取引所上場企業

**2205** 家

総市場価値

**23 兆 7400** 億元  
(約 401 兆 6601 億円)

上場債券  
(資産担保証券含む)

**5998** 銘柄

額面価格

**2 兆 800** 億元  
(約 35 兆 1918 億円)

上場ファンド

**530** 個

純資産価値

**1933** 億元  
(約 3 兆 2704 億円)

▼ 2019年

各種証券成約総額

**100 兆 8000** 億元  
(約 1704 兆 4480 億円)

株式資金調達額

**5089** 億元  
(約 8 兆 6101 億円)

固定収益商品融資額

**1 兆 7500** 億元  
(約 29 兆 6085 億円)

CSI300(浮動株時価総額加重平均指数)  
ETF(上場投資信託) オプション

上場取引成功

世界証券取引所連合会 (WFE)  
最新統計データ

深圳市場取引金額  
世界  
**第3位**

融資金額  
世界  
**第5位**

株式市価総額  
世界  
**第8位**



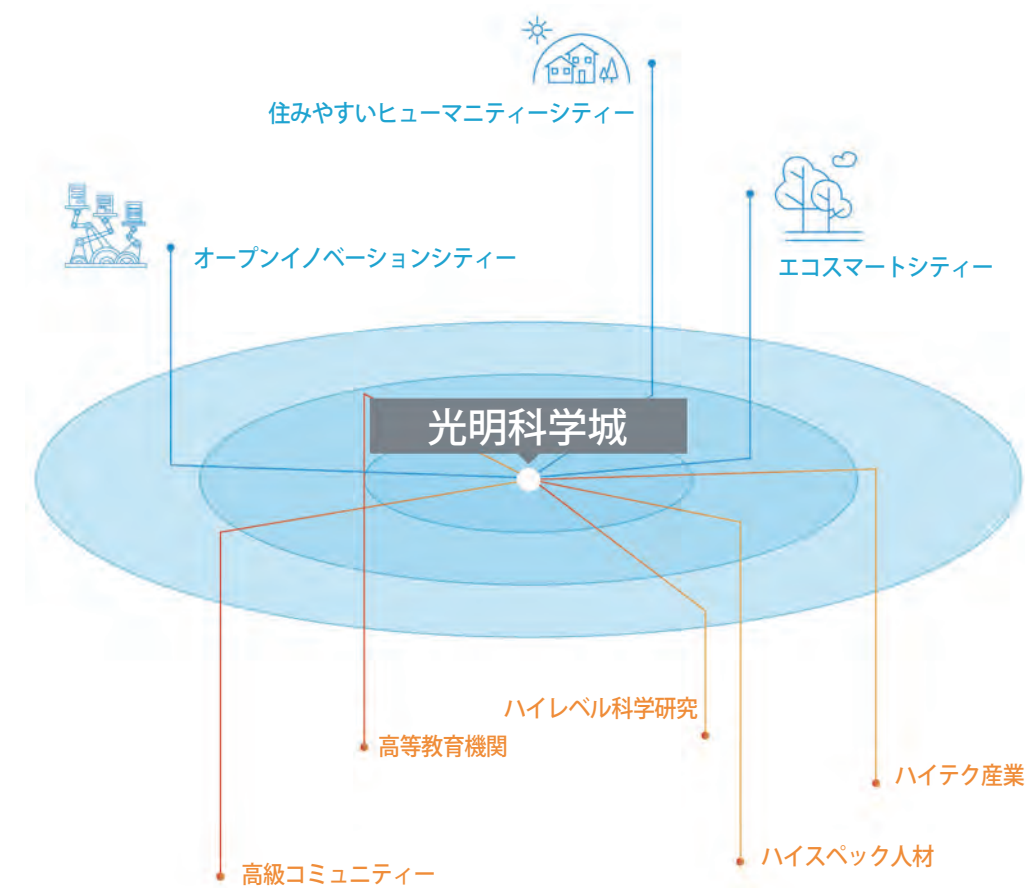


Chapter 4

HOT SPOTS  
注目エリア

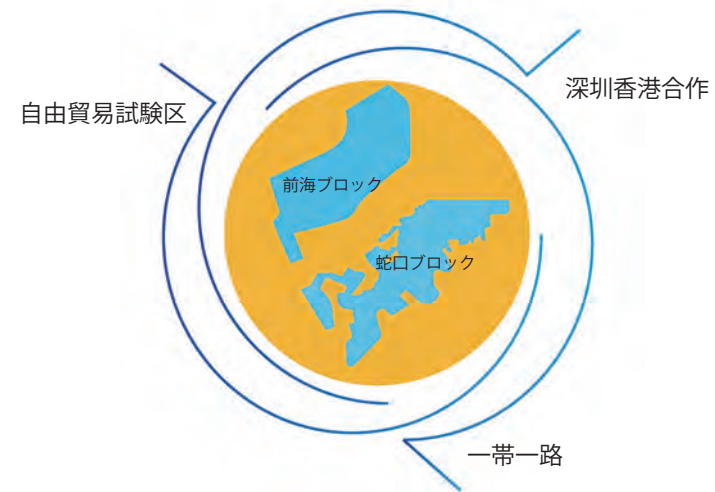
>> 光明科学城

光明科学城は北側が深圳と東莞の境界、西は竜大高速道路と東長路を境界に位置し、計画総面積は99平方キロメートル。そのうち建設用地は約31平方キロメートル、非建設用地は約68平方キロメートルとなっています。グレーターベイエリアの国際的イノベーションセンターという中核機能を持つ区域と総合的な国家科学センターという重要な部分から構成され建設されます。「光明科学城空間計画要綱」では、光明科学城は「オープンイノベーションシティ、住みやすいヒューマニティーシティ、エコスマートシティ」を建設目標としており、ハイレベル科学研究、高等教育機関、高級コミュニティ、ハイテク産業、ハイスpek人材が集まるグローバルな科学技術イノベーションの高地を建設し、最終的には卓越した競争力と影響力を持つ世界でも一流の科学シティを作り上げます。





## >> 前海蛇口自由貿易エリア



中国（広東）自由貿易試験区深圳前海蛇口エリアの計画面積は 28.2 平方キロメートル、前海ブロックと蛇口ブロックに分かれています。

前海は珠江口東岸、蛇口半島の西側に位置し、面積は 14.92 平方キロメートル。前海には優れた地理的条件があり、香港と深圳両方の国際空港と国際港湾に隣接しています。前海は国内で唯一の深港現代サービス業合作区です。

深圳前海蛇口自由貿易エリアは 2015 年 4 月 27 日に発足・設立した、中国（広東）自由貿易試験区の一部です。前海には深圳と香港の提携合作、一带一路、自由貿易試験区の三大国家戦略が集まっており、「合作区+自由貿易試験区+保税港灣地区」という「三区」トリプルモデルであり、全国の自由貿易試験区共有の政策だけでなく、前海合作区独自の政策もあり、比較すると優位性はさらに際立っています。

2019 年末時点での深圳前海蛇口自由貿易エリアの登記企業は累計 16 万 2600 社、累計登記資本は 9 兆 4800 億元（約 160 兆 482 億円）に上りました。

深圳前海蛇口エリア計画面積

**28.2** 平方キロメートル

前海蛇口自由貿易エリア登記企業

**16 2600** 社





## >> 深港科学技術イノベーション合作区



## 「一河両側、一国両制 クロスボーダー、超制度、グローバル化」

### 優位性

#### 特に有利なエリアの位置、非常に恵まれた越境隣接

深圳と香港の「直接結合部」に位置するという、唯一無二の強みがあります

#### 際立つ制度の優位性、一区両制の独自の条件

「香港特別行政区」と「深圳経済特区」の二重の制度の強みがあります

#### 独特の役割、有限の面積でリスクコントロール

合作区の面積は合計約 4 平方メートル

福田保税区は税関特殊監督管理区域に属し、物理的なフェンスで管理を実施、「事前に予防し事後に追跡」を徹底

#### 双方の強みを結合、合作規模効果を拡大

相互補完、長所で短所を補うことが、香港イノベーション科学発展と国際イノベーション科学センター建設の最良の結節点であり、作用点なのです。



### 発展ミッション

画期的な、先端型国家重要科学技術基礎施設の共同建設

国際レベルの科学施設群の共同建設

世界一流の科学技術インキュベーション高度化機構の建設

深圳香港都市新ランドマーク集合エリアと世界レベルの都市景観帯の建設

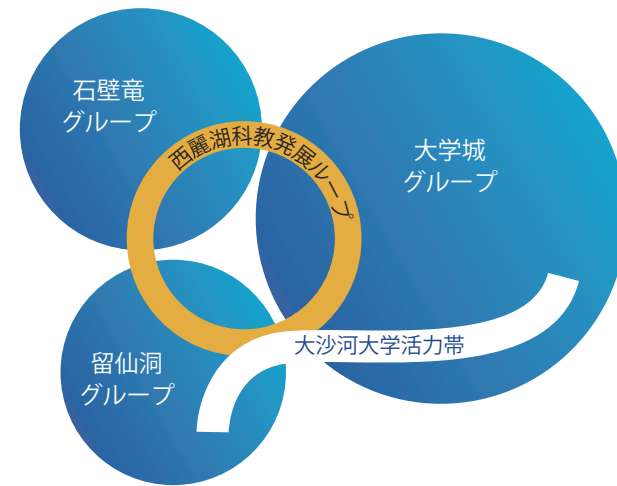
科学技術イノベーション国際化ビジネス環境の構築

イノベーション要素の迅速な有効流動を実現



## >> 西麗湖国際科学教育城

西麗湖国際科学教育城は、全域の面積約 60 平方キロメートル、科学技術部がサポートする深圳の社会主義先行モデル地区建設の重要な取り組みであり、深圳市の「双区駆動」（グレーターベイエリア+先行モデル地区）建設の重要な戦略プラットフォームです。



## >> 深汕（深圳・スワトウ）特別合作区

深汕特別合作区はグレーターベイエリアの最東端に位置し、総面積は 468.3 平方キロメートル、現有戸籍人口は 7 万 9100 人。

深圳が全面的に建設管理を担う深圳「10+1」区として、深汕特別合作区の相対的な位置付けは、「グレーターベイエリアの東の玄関、粵東沿海経済帯の新しい中心、深圳の自主イノベーション開拓区、現代化国際ベイエリアスマートシティ」であり、「イノベーションが成長を牽引し、新しい都市を確実に再建する」を成長理念とし、「本部+基地、研究開発+生産、インテリジェント+応用」を成長モデルとし、「計画のリード、基礎の先行、プラットフォームの先導、都市と産業の融合」を成長方針とし、中国の飛び地経済成長モデル、飛び地管理モデル、飛び地農村都市化実践の創始者としての地位構築に奮闘しています。

総面積

**468.3**  
平方キロメートル

現有戸籍人口

**7 万 9100** 人







Chapter 5

# LIVABLE CITY

## 住みやすい街

### >> 低炭素都市

#### 車両の純電気自動車化のプロセス

|       | バス | タクシー | 物流配送車 | ダンプカー | 新エネルギー自動車 |
|-------|----|------|-------|-------|-----------|
| 2017年 |    | /    | /     | /     | /         |
| 2018年 |    |      |       |       | /         |
| 2019年 |    |      |       |       |           |
| 2020年 |    |      |       |       |           |

低炭素は深圳の代名詞です。深圳は「エコ低炭素」の成長理念を実行し、GDP1 万元当たりのエネルギー消費は中国国内都市の最低レベルであり、世界の先進国レベルとなっています。PM2.5は世界的にも先進レベルに達しており、空気質は全国 168 の重点都市で第 9 位となっています。深圳は 2017 年に全国に先駆けてバス車両を全面的に電動化し、2018 年には全市のタクシーを全面電動化しました。都市部の物流電動化のプロセスを加速化し、エコ配送を実現しました。建設工事の分野では電動ダンプカーなどを普及させました。2019 年、深圳は新エネルギー自動車の使用普及のサポートを加速、年間で新エネルギー自動車 9 万 2000 台を普及させ、各種充電スタンドの設置累計 8 万 3000 カ所を達成しました。今年、深圳は新エネルギー自動車 9 万台を普及、各種充電スタンドを 6500 カ所新設し、輝かしい「深圳ブルー」という都市の称号を打ち立てる見込みです。

PM<sub>2.5</sub>  
24 μg/m<sup>3</sup>

深圳は全国 168 の重点都市で第 9 位となっています。



## >> 森林都市

深圳は「国家森林都市」として、森林率 40.68%、緑化率 45.1% であり、今年は緑化率 50% 以上を達成します。深圳は 2000 平方キロメートルに満たない土地に、大小様々な 1000 以上の公園が点在し、「千園の街」と呼ばれています。公園は緑のネットのように、深圳の豊富な自然生態資源を結んでおり、市民が窓から緑を見たり外に出て緑をながめるだけでなく、森林を歩き、郊外をトレッキングして、自然を体験し、人と自然との共存を感じさせています。全市には各種のグランド合計約 1 万 4000 カ所以上が、コミュニティ、公園などの公共スペースに広く分布しています。全市のスポーツ施設の敷地面積は 2000 万平方メートル超、市民の健康、レジャーに役立っています。深圳には「中国で最も美しい八大海岸線」があり、『ロンリープラネット』では「訪れるべき国と都市ベスト 10」の一つに選ばれ、『ニューヨークタイムズ』では「行くべき 31 の旅行先」の一つとされました。

BEST IN TRAVEL  
2019

『ロンリープラネット』で  
「訪れるべき国と都市ベスト 10」の  
一つに選ばれました

The  
New York  
Times

『ニューヨークタイムズ』で  
「行くべき 31 の旅行先」の  
一つに選ばれました

森林率

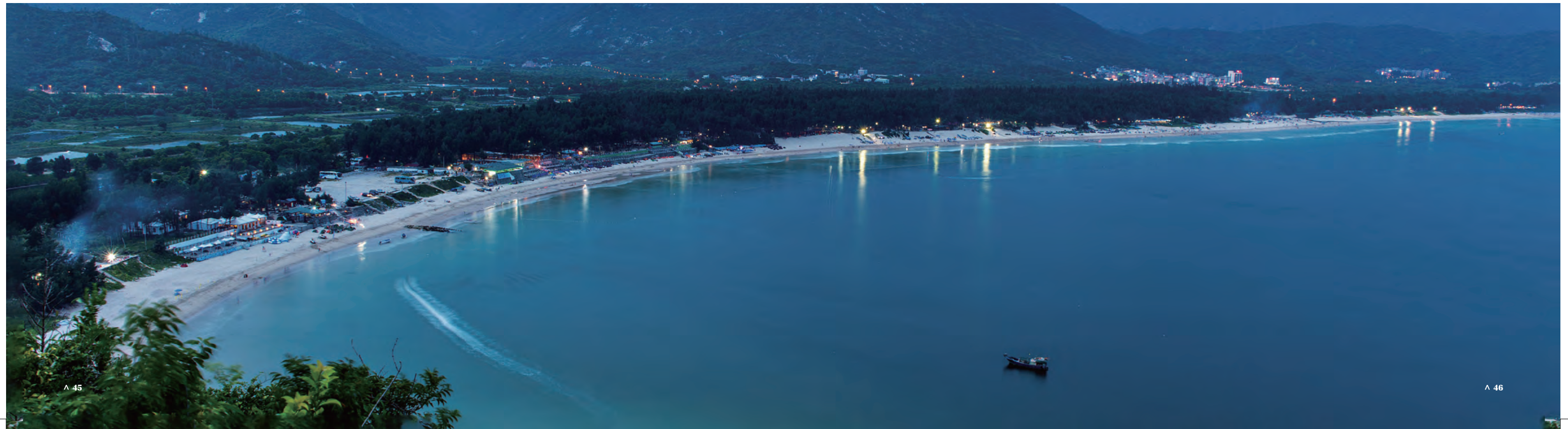
40.68%

今年中に緑化率

50% 以上

全市各種のスポーツ施設数  
合計約

1 万 4000 カ所以上







高度医療チームの誘致累計  
**245** チーム

「三名工程」達成病院累計  
**6** 病院

## >> 医療設備

医療分野で、深圳は健康中国「深圳モデル」の構築を目標に、2022年までに率先して中国の特色を持つ基本医療保健制度を全面的に設立し、市民の健康レベルを向上させる基本制度の保障を形成し、市民の健康満足度を高めていきます。「地域医療センター＋基礎医療機関」を中心とした統合型の優良・高効果の医療サービスシステムを設備し、基礎医療グループ内での病院と社会健康機関の一体化運営、医療と予防の融合発展、全診療科と専門診療科の共同サービスを推進します。2019年末時点で、全市の三級甲クラス病院は18カ所、全市病院のベッド数は合計5万1318床、誘致した高度医療チームは累計245チーム、「三名工程（名医、名病院、名クリニック）」達成病院は累計6カ所。2020年には三級病院は新たに4カ所増え、ベッド数は8000床増、医学重点学科の設置「611計画」を実施し、高度医療チーム約20チームを新たに誘致する見込みです。

## >> 高等教育

高等教育の分野では、ここ数年その規模と質が徐々に向上しており、高い起点、高い基準によって高等教育機関を建設し、運営モデルを革新、提携し、産学協力を促進し、科学研究人員と科学研究の質の向上に注力しています。ここ5年間で学校運営提携、ラボの共同建設、科学研究協力、共同育成、学生の交換など、各種の国際交流提携プロジェクト 325項目が進んでおり、そのうち継続案件が273項目あり、関係する高等教育機関は202に上ります。2019年末時点で、深圳には独立して設立された、香港中文大学（深圳）、深圳北理モスクワ大学の対外提携運営大学2校があり、天津大学ジョージア理工深圳学院、深圳メルボルン生命健康工程学院、ハルビン工業大学（深圳）国際設計学院などの非独立系の対外提携運営機構の建設を重点的に進めているところであり、清華大学深圳国際研究生院とカリフォルニア大学バークレー校とは提携運営の強化を推進しており、同時に深圳大学パーソンズデザイン学院、深圳大学レビンクラス、南方科技大学深港マイクロエレクトロニクス学院、南方科技大学-MIT機械工程連合教育科研センター、深圳大学-シンガポール南洋理工大学連合学院など、対外提携運営プロジェクトの構築が加速しています。

### 独立設置の対外提携大学



### 提携運営を強化



### 非独立系対外提携機構



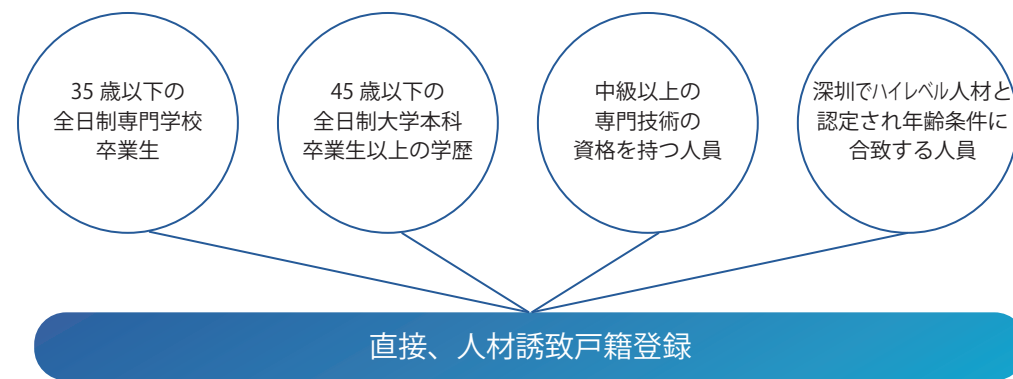
### 対外提携運営プロジェクト





## >> 人材政策

人材関連の分野では、深圳の人材誘致政策は他の大都市と比較すると条件がやや緩やかであり、35歳以下では全日制専門学校卒業生、45歳以下では全日制大学本科卒業生以上の学歴、または中級以上の専門技術の資格を持つ人員、深圳でハイレベル人材と認定され年齢条件に合致する人員であれば、直接人材誘致の手続きを経て戸籍登録できます。深圳では、各種人材は等しく税の優遇措置、住宅賃貸と生活手当、創業援助などの恩恵を受けられます。補助金の金額は1万5000元(約25万3380円)から600万元(約1億135万円)とさまざまです。

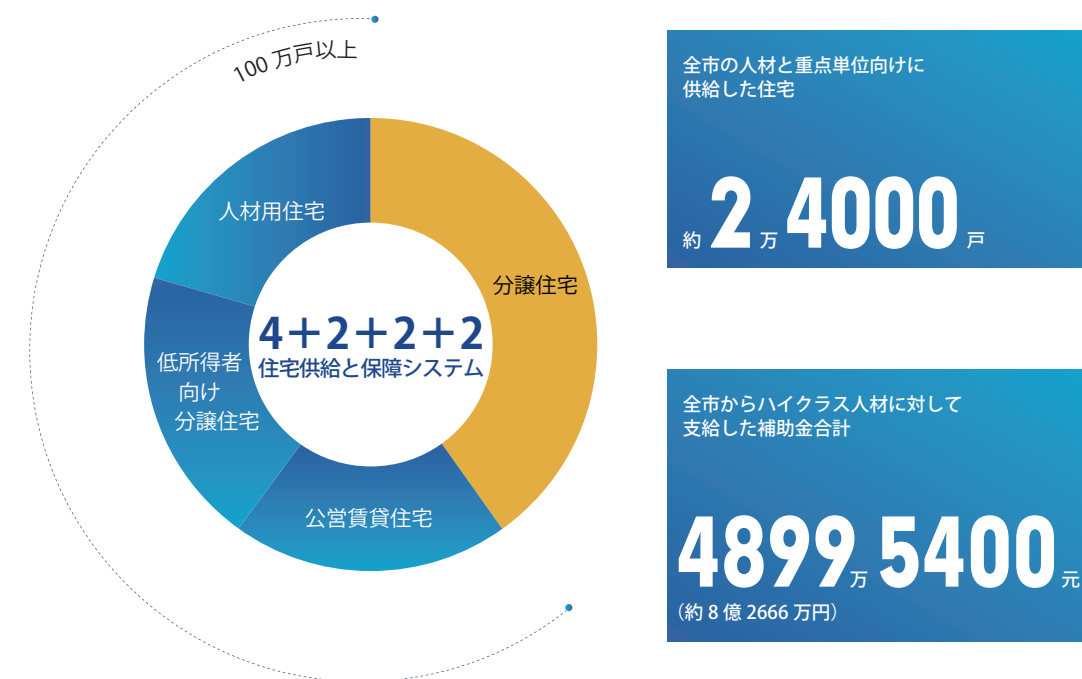


### ▶ 人材補助金優遇政策



## ▶ 住宅関連政策

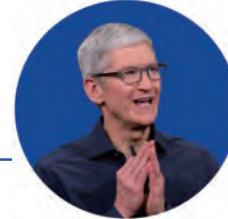
深圳は人材の住まいのニーズに応えるべく努力しており、全国で初めて住宅供給を増やし、複数ルートで保障し、「4+2+2+2」(分譲住宅、人材用住宅、低所得者向け分譲住宅、公営賃貸住宅の比率)とする住宅供給と保障システムを打ち出し、将来的には大規模な公営住宅の建設を持続しておこなっていきます。人材の住宅入居は実物提供と住宅補助金の2種類の方法をとっており、そのうち実物提供には賃貸料免除、所有権贈与、公営賃貸住宅入居、低所得者向け分譲住宅購入、人材住宅の賃貸・購入などの形式があります。住宅補助金には、購入補助、賃貸補助、ハイクラス人材奨励手当などの形式があります。2019年、全市で人材と重点単位に向けて2万4000戸の住宅を供給し、全市からハイクラス人材に対して支給した補助金は合計4899万5400元(約8億2666万円)に上りました。





Chapter 6

SHENZHEN IN MY EYES  
私と深圳



アップル CEO ティム・クック

深圳に戻ってきた感覚はとて素晴らしいものです。深圳への道中、20 数年前の深圳はどんな様子だったかを思い出していました。現在は目を見張るような変化を遂げ、グローバルな都市となりました。私たちが深圳の成長の一部となったことを大変光栄に思います。



ウォルマート中国地区総裁兼 CEO 朱曉静

深圳に拠点を置いて 20 数年の企業として、私たちは深圳の改革創新の精神と驚くべき成長のスピードを間近に見てきました。深圳の未来には巨大なポテンシャルがあり、強い消費マーケットと市民の購買力があり、ビジネス環境は最適化し続けています。私たちは深圳での投資とイノベーションの発展の継続に自信を持っています。



エアバス CEO トーマス・エンダース

深圳は中国のシリコンバレーであり、ハイテク企業が非常に多く、ポテンシャルを持つ企業と提携パートナーも多くあります。私たちは深圳に来て、イノベーションの経験と新しい考え方を取り入れ、中国のイノベーション企業とさらに良い提携パートナーになることを願っています。深圳でイノベーションセンターを設立することは非常に重要で、深圳のイノベーションの潜在力を吸収し、当社がグローバルにイノベーション活動を進めるサポートをしてくれます。





**ボストンコンサルティンググループ会長  
ハンス・ポール・バックナー**

深圳企業の成長はデジタル化能力の点で多くの学ぶべき点があります。深圳には多くの異分野のボーダーを打ち破れるイノベーション人材がいますので、私たちはアジア太平洋デジタル化センター設立を決定しました。多様な世界のデジタル専門家チームを集め、世界の最前線の視点に立ち、中国及び全世界の企業、政府、公共機関にデジタル化時代の最新のソリューションを提供いたします。



**モルガン・スタンレー大中華地区 CEO 盖戈睿**

深圳は中国で成長が最も速い都市の一つであり、ハイテク技術産業、貿易輸出、海洋運送など多くの方面で一流のインフラを備えています。深圳と珠江デルタ地域の持続的なスピード成長に伴い、それに応じて資本と金融サービスに対するニーズも増加しており、深圳支店の開業は、私たちが珠江デルタ地域の前途と中国経済の持続的成長に自信を持っていることを再度証明しました。モルガン・スタンレーは珠江デルタ地域の企業に向けた広範な金融サービスを提供し、その業務の発展をサポートすべく尽力いたします。



**アリババ創業者 ジャック・マー**

アリババは新製造（ニューマニファクチャリング）の最重要ポイントは広東にあると考えています。これは広東での新製造のチャンスでもあり、深圳は現在この能力を備えています。私たちは深圳から実行し始め、新製造の基地、IoT、未来のスマート製造の商品を深圳で具体化させたいと思っています。



**小米グループ会長 雷軍**

深圳はビジネス環境も良く、科学技術・イノベーション・エコの産業チェーンも万全であり、科技イノベーション企業の大きな成長のための土壌が出来上がっている場所です。



Chapter 7

ABOUT US

深圳市駐日経済貿易代表事務所のご紹介



深圳市駐日経済貿易代表事務所  
Shenzhen Economic And Trade Representative Office In Japan

当代表事務所は、深圳市と日本との経済交流を促進するため、深圳市政府によって 2005 年 1 月 25 日に設立された。深圳市の窓口として、日本ー深圳間の投資、貿易に関わるあらゆるビジネスサポートを無償でご提供します。どうぞお気軽にご質問・ご相談をお寄せください。

主な業務内容

1. 日本における広報活動
  - ・ 深圳市の社会制度、経済環境、金融事情、文化生活などの情報発信
  - ・ セミナーの開催や各種展示会の出展によるプロモーション活動の展開
2. 経済交流の促進
  - ・ 日本の政府機関・経済団体、企業との交流により、相互の連携の促進、ネットワークの強化
  - ・ 日本・深圳間の経済交流促進活動の展開
  - ・ 深圳現地での視察訪問・ビジネス・マッチング・各種展示会出展へのサポート
3. 日本企業の深圳市への誘致促進
  - ・ ビジネスに役立つ各種情報の提供
  - ・ 個別企業へのアドバイスや各種相談、進出支援
4. 深圳市内企業への日本ビジネス展開の支援
  - ・ 日本の経済産業、社会制度、マーケットなどの情報収集と提供
  - ・ 関連団体・企業の紹介
  - ・ 展示会・商談会への出展支援



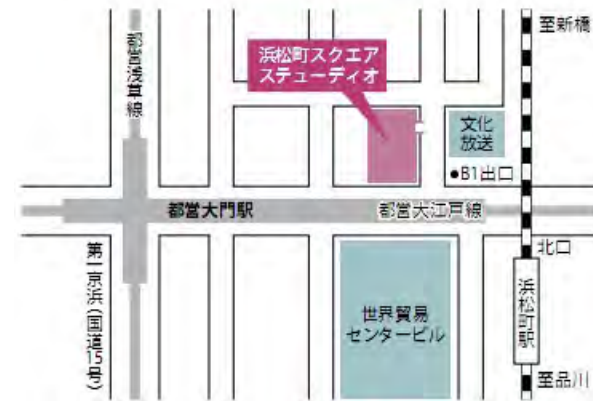
## 連絡先



深圳市駐日経済貿易代表事務所  
Shenzhen Economic And Trade Representative Office In Japan

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5  
浜松町スクエアステューディオ 1908 号室  
TEL: **03-5733-2244** FAX: **03-3432-5333**  
E-mail: [info@shenzhenoffice.jp](mailto:info@shenzhenoffice.jp)  
URL: [www.shenzhenoffice.jp](http://www.shenzhenoffice.jp)

※ JR 線「浜松町駅」北口 都営大江戸線・都営浅草線「大門駅」B1 出口  
ステューディオへは、正面玄関の右手にある東側の入り口より



## 成功事例



※順不同